

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※ 大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	札幌大谷大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌大谷学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
短期大学部	保育科	夜・通信	5	30	—	35	7	
	専攻科保育専攻	夜・通信	—	9	2	11	7	
(備考) 新課程移行初年度のため、1年生は新課程、2年生は旧課程について計上します。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>・本学ホームページ https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/syugakushien/syugakushien1_jyugyoukamoku.pdf</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌大谷大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌大谷学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

・本学ホームページ
https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/syugakushien/syugakushien2_rijimeibo.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現職 公益財団法人、 専務理事	2018年9月27日 から 2021年3月31日 まで	学園組織全体の 運営
非常勤	前職 北海道職員、 部長職歴任	2016年4月1日 から 2021年3月31日 まで	学園組織全体の 運営
(備考) 学外者である理事は8名いますが、うち2名を記載します。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌大谷大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌大谷学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(1)授業計画書(シラバス)の作成過程</p> <p>FD委員会で、次年度開講科目の授業計画書(シラバス)の作成について、授業計画書(シラバス)の様式の見直しや、教員向け説明用資料等(※)を検討し、決定したものを教授会で報告する。</p> <p>教授会で報告した後、各教員は次年度開講科目の授業計画書(シラバス)の作成に取り組み、最終3月中旬を目標とする。</p> <p>(※)教員向け説明用資料等</p> <p>①シラバス作成のガイドライン シラバスの定義をはじめ、作成する意義、作成方法等を表記したガイドライン</p> <p>②シラバス作成の留意事項 本学のシラバスの様式を基に、授業概要、到達目標、授業計画、成績評価方法・基準、予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間他、項目ごとに留意事項を表記した文書</p> <p>(2)授業計画書(シラバス)の作成・公表時期</p> <p>FD委員会で、作成時期について12月までに検討し、翌年1月開催の教授会で報告する。</p> <p>その後、授業科目担当教員は授業計画書(シラバス)の作成に取り組む。</p> <p>授業計画書(シラバス)完成後は、全学生を対象に授業計画書(シラバス)の冊子を4月初旬に配布する。</p> <p>本学ホームページは4月中を目途に公表する。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冊子「シラバス 札幌大谷大学短期大学部」 入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。 ・本学ホームページ https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/department/syllabus/syllabus_juniorcollege_2019.pdf

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

(1)評価対象

各授業科目において次の全ての条件に満たない場合は、評価の対象とはなりません。

- ①履修登録期間内に履修登録の手続きを完了すること。
- ②定められた授業回数の3分の2以上、授業に出席すること。

(2)単位修得

評価対象となる授業科目は、授業科目担当教員が次の複数の方法から評価し、単位認定します。

- ①学期末試験（学期末の授業内試験及び定期試験並びに実技試験をいう）
- ②平常試験（授業科目担当教員が必要に応じて随時行う小テストや中間テスト等）
- ③レポートや作品等の課題提出
- ④学修状況他

(3)成績評価

授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり、秀、優、良、可、不可をもって表し、可以上を合格とします。

評価	評点	G P
秀	90点以上	4
優	80点以上90点未満	3
良	70点以上80点未満	2
可	60点以上70点未満	1
不可	60点未満	0（評価対象外の授業科目含む）

(4)成績についての異議申し立て

成績評価の透明性、厳格性を確保するため、学生（及び保証人）から成績評価に対する異議があった場合、その申し立てをすることができます。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(1)成績の評価

成績の評価は、上記2の(3)の各評価に加え、学修成績を総合的に判断する指標として、1単位あたりの評価平均値(Grade Point Average(以下「G P A」という。))を用いることとし、各学修の評価に対する授業科目の評点及び評価の数値(Grade Point(以下「G P」という。))は、上記2の(3)のとおりとする。

(2)G P Aの算出方法は、次のとおりとする。

①対象となる授業科目は、履修登録の手続きをした全ての授業科目とする。

ただし、大学の教職課程科目他は、G P Aの対象から除くものとする。

②((科目の単位数)×(G P))の総和÷履修科目の総単位数(不可・評価対象外の単位数を含む)で得た数値の小数点以下第3位は四捨五入する。

(3)札幌大谷大学短期大学部の半期(1学期)G P Aは、次のとおり学修指導及び退学勧告並びにその他の基準において用いる。

①G P Aが1.0未満の学生に対しては、担任教員又は教務教職委員が個人面談により学修指導を行う。

②G P Aが2期連続又は通算3回1.0未満となった学生に対しては、学部長又は学科長が個人面談により学修指導を行い、面談及びその指導の記録を保証人に通知する。

③前号に該当する学生が、当該学修指導以降も学修の改善が認められない場合は、教務教職委員会の議を経て退学勧告を行う。

(4)本学の半期(1学期)G P Aは、教員間もしくは各授業科目間の成績評価基準の平準化のための参考指標等に用いる。

(5)通算(累計)G P Aは、次の表のとおり3.0以上の学生に対しては、学部学科及び学年別に定められた履修登録の年間上限単位数に単位を追加することができる。なお、年間上限単位数の追加は、2年生以上とし、年度末に確認する。

通算(累計)G P A	次年度追加単位数
3.5以上	8単位
3.0以上3.5未満	4単位

客観的な指標の算出方法の公表方法

- ・冊子「学生便覧」
入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。
- ・本学ホームページ
「札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部履修等規程」
https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/syugakushien/syugakushien3_kitei.pdf

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(1)卒業の認定に関する方針の具体的な内容</p> <p>[保育科]</p> <p>①質の高い保育実践のため、自ら進んで得意分野を身につけ、技能向上に向けて努力できます。(自律性)</p> <p>②広い視野を持ち、保育者としての役割を理解しつつ地域社会に貢献することができます。(課題発見・社会貢献性)</p> <p>③子どもの個性や自主性を重んじ、思いやりを持って接することができます。また、他者と協力して課題解決に当たることができます。(協調性)</p> <p>④コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。(基礎的汎用的スキル)</p> <p>⑤幅広い教養と保育に関する専門的知識、技能及び表現力を修得し、実社会のニーズに応じて活用することができます。(知識活用)</p> <p>[専攻科保育専攻]</p> <p>①高い倫理観と深い人間性を有し、保育に対する強い責任感を持って、常に新しい知識や社会の事象に関心を持ち、自己研鑽に努めることができます。(自律性)</p> <p>②さまざまな課題を多面的に捉える視点を持ち、課題を分析し解決に向けて積極的に貢献することができます。(課題発見・社会貢献性)</p> <p>③子どもを取り巻く地域の課題に対して関係機関(者)などと連携を図り、問題解決へと導く能力を身につけています。(協調性)</p> <p>④コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。(基礎的汎用的スキル)</p> <p>⑤子どもの個性に応じた創造性を高めるために、高度な知識・技能・表現力を修得し、実社会のニーズに応じて活用することができます。(知識活用)</p> <p>(2)卒業の認定に関する方針の適切な実施状況</p> <p>卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。なお、保育科が卒業に必要な単位数は、62単位以上(必修・教養科目5単位、必修・専門科目9単位、選択・教養科目及び選択・専門科目48単位以上)で、専攻科保育専攻が修了に必要な単位数は、46単位以上(必修・専門科目8単位、選択・専門科目及び選択・専門関連科目38単位以上)となる。</p> <p>また、卒業及び修了判定は、教授会において担当委員会及び学部学科の意見を聞いたうえで、学長が卒業及び修了を認定する。なお、判定の手順として次の会議の順番で事前審議することとする。</p> <p>①所属学科の教員による学科会議</p> <p>②各学科の教務教職委員による教務教職委員会</p> <p>③札幌大谷大学短期大学部学則による大学協議会</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>・冊子「学生便覧」、「シラバス 札幌大谷大学短期大学部」入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。</p> <p>・本学ホームページ「ディプロマ・ポリシー」 https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/nursery/general/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※ 大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	札幌大谷大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌大谷学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<ul style="list-style-type: none"> 本学ホームページ https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/publicinfo/zaimu_shiryuu_2019_02.pdf
収支計算書 又は 損益計算書	<ul style="list-style-type: none"> 本学ホームページ https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/publicinfo/zaimu_shiryuu_2019_03.pdf
財産目録	<ul style="list-style-type: none"> 本学ホームページ https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/publicinfo/zaimu_shiryuu_2019_01.pdf
事業報告書	<ul style="list-style-type: none"> 本学ホームページ https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/publicinfo/zaimu_shiryuu_2019_07.pdf
監事による監査報告(書)	<ul style="list-style-type: none"> 本学ホームページ https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/publicinfo/zaimu_shiryuu_2019_08.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：

- ・本学ホームページ

「平成 29 年度短期大学機関別認証評価 自己点検評価書[日本高等教育評価機構]」

https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/evaluation/2017_hyokasho_tandai.pdf

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

- ・本学ホームページ

「自己点検・評価 認証評価結果」

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/about/general/evaluation/>

又は

本学ホームページ

「札幌大谷大学短期大学部 平成 29 年度 短期大学機関別認証評価 評価報告書
平成 30 年 3 月公益財団法人 日本高等教育評価機構」

https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/evaluation/2017_hokusho_tandai.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

<p>学部等名 保育科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子「学生便覧」 入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。 ・本学ホームページ 「札幌大谷大学短期大学部学則」第 2 章 学科、定員及び修業年限等の（教育研究上の目的）第 3 条の 2 参照 https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/tandai_gakusoku.pdf
<p>(概要)</p> <p>保育科は、乳幼児の発達と教育に関わる知識と技能を修得し、実習を通じて実践力を養うことにより、成長期の子どもと子どもを取り巻く今日的な問題に対して適切に対処できる高い知性や社会性を備えた幼稚園教諭及び保育士の養成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子「学生便覧」 入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。 ・本学ホームページ「ディプロマ・ポリシー」 https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/nursery/general/
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①質の高い保育実践のため、自ら進んで得意分野を身につけ、技能向上に向けて努力できます。（自律性） ②広い視野を持ち、保育者としての役割を理解しつつ地域社会に貢献することができます。（課題発見・社会貢献性） ③子どもの個性や自主性を重んじ、思いやりを持って接することができます。また、他者と協力して課題解決に当たることができます。（協調性） ④コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。（基礎的汎用的スキル） ⑤幅広い教養と保育に関する専門的知識、技能及び表現力を修得し、実社会のニーズに応じて活用することができます。（知識活用）
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子「学生便覧」 入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。 ・本学ホームページ「カリキュラム・ポリシー」 https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/nursery/general/
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①建学の精神及び仏教保育（真宗保育）について学び、自己と他者の命を尊重し、豊かな情操を身につけ、知徳の陶冶を図ります。 ②豊かな人間性と社会人としての基礎的教養を身につけるために、教養教育科目を配置します。特に、伝える力を中核とするコミュニケーション能力の育成のため、全学共通の初年次教育科目を配置します。 ③保育の理念及び背景にある思想や歴史についての理解を深めるための科目を配置します。

<p>④乳幼児の心や身体の発達を支えるために必要な保育の専門知識を修得するための科目を配置します。</p> <p>⑤保育及び子育てに関連する社会的課題について理解を深めるための科目を配置します。</p> <p>⑥保育の場で直接子どもと関わり、実践に即した保育観を築くために、実習科目を配置します。</p> <p>⑦保育実践における技術を向上させ、感性を磨くために、音楽・美術・言葉・身体による表現を総合的に学ぶ科目を配置します。</p> <p>⑧各自の得意分野を磨くとともに、子どもが育つ環境の今日的な課題に目を向け、自然から学び、自分で遊びを工夫することの大切さについて理解を深めるための科目を配置します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子「学生便覧」 入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。 ・本学ホームページ「アドミッション・ポリシー」 https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/nursery/general/
<p>（概要）</p> <p>①高等学校の幅広い学習内容を習得し、保育科において学修を継続することに強い意欲を持っていること。</p> <p>②保育や子育てに関連する社会の問題に深い関心を持ち、保育に関する専門知識を持って社会に貢献しようという目的意識を持っていること。</p> <p>③多様な文化・価値観を受け入れ、他者を尊重し、共に支えあう子育て社会について積極的に考えられること。</p> <p>④高等学校の教育課程における国語総合（現代文）において一定レベルの基礎知識を有していること。</p> <p>⑤社会、生物、英語において一定レベルの基礎知識を有していること。</p> <p>⑥日本語による基本的な文章を作成するスキルを有していること。</p> <p>⑦歌唱、絵画、器楽などによる、自己表現のスキルを有していること。</p>

<p>学部等名 専攻科保育専攻</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子「学生便覧」 入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。 ・本学ホームページ 「札幌大谷大学短期大学部学則」第10章 専攻科の（教育研究上の目的）第45条の2参照 https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/tandai_gakusoku.pdf
<p>（概要）</p> <p>専攻科保育専攻は、本科の教育課程で修得した知識と技能を基礎として、さらに障害児教育・教科教育・実践教育に特色を置いた高度な資質や力量の涵養を図り、現代社会に即応できる人材の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子「学生便覧」 入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。 ・本学ホームページ「ディプロマ・ポリシー」 https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/nursery/general/

<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高い倫理観と深い人間性を有し、保育に対する強い責任感を持って、常に新しい知識や社会の事象に関心を持ち、自己研鑽に努めることができます。(自律性) ②さまざまな課題を多面的に捉える視点を持ち、課題を分析し解決に向けて積極的に貢献することができます。(課題発見・社会貢献性) ③子どもを取り巻く地域の課題に対して関係機関(者)などと連携を図り、問題解決へと導く能力を身につけています。(協調性) ④コミュニケーション能力や課題解決能力など、卒業後の社会で求められる汎用的なスキルを身につけ、ニーズに応じて活用することができます。(基礎的汎用的スキル) ⑤子どもの個性に応じた創造性を高めるために、高度な知識・技能・表現力を修得し、実社会のニーズに応じて活用することができます。(知識活用)
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子「学生便覧」 入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。 ・本学ホームページ「カリキュラム・ポリシー」 https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/nursery/general/
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①短大の教育課程での学びを踏まえ、建学の精神に対する理解をさらに深めるための科目を配置します。 ②専攻科での学びに必要な学力や社会人として求められる教養を身につけるために、教養教育科目を配置します。 ③子どもの心身の発達に関する専門的知識をさらに深め、自らの実践に活かすことができる応用力を養うための科目を配置します。 ④子どもをとりまく社会状況に対する理解を深めるとともに、多様な問題の解決に向けて他職種と協働できる資質を身につけるための科目を配置します。 ⑤持続可能な社会を担う世代の育成に必要な倫理観・資質を養うための科目を配置します。 ⑥保育・幼児教育の今日的課題を学び、各々の保育観を深めるために、実習科目を配置します。 ⑦保育実践における技術のさらなる向上を図り、感性を磨くために、表現を総合的に学ぶ科目を配置します。 ⑧論理的思考を養うとともに、表現力・発信力を身につけるために、短大を含めた4年間の学修を総括し、研究論文としてまとめる機会を設けます。
<p>入学者の受入れに関する方針(公表方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子「学生便覧」 入手方法は、事務局学務課まで電話かメールでお問い合わせしてください。 ・本学ホームページ「アドミッション・ポリシー」 https://www.sapporo-otani.ac.jp/department/nursery/general/
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①本学短期大学部保育科またはそれに相当する教育課程を修得し、幼稚園教諭二種免許許状を取得しており、専攻科においてさらに学修を継続することに強い意欲を持っていること。 ②保育や子育てに関連する社会の問題に深い関心を持ち、保育に関するさらに高度な専門知識を持って社会に貢献しようという目的意識を持っていること。 ③多様な文化・価値観を受け入れ、他者を尊重し、共に支えあう子育て社会について積極的に考えられること。 ④短期大学卒業程度の文章作成能力を有すること。 ⑤一定レベルのピアノ演奏に関するスキルを有すること。

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学ホームページ <p>情報公開資料「1. 学部・学科ごとの名称及び教育研究上の目的」参照 https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/publicinfo/kyoiku_shiryou_2018_01.pdf</p> <p>及び</p> <p>情報公開資料「2 教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報の(2)教員組織及び職階別専任教員数」参照 https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/publicinfo/kyoiku_shiryou_2018_02_02.pdf</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	0人	—					0人
保育科	—	5人	2人	6人	0人	0人	13人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		39人					40人
各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）		<p>公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学ホームページ <p>情報公開資料「2018年度教育研究上の基礎的な情報及び修学上の情報等に係る情報公開資料、2 教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報の①専任教員 学歴及び保有学位等一覧」参照 https://www.sapporo-otani.ac.jp/wp/wp-content/themes/sapporo-otani/images/about/general/publicinfo/kyoiku_shiryou_2018_02_01.pdf</p>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>FD活動について積極的に取り組んでいる。特に研修活動に力を入れているが、2018年度は4月に専任及び非常勤講師の全教員を対象とした「FD研修会」を実施したことにより、各種ハラスメントをはじめ組織的な授業内容や教育方法について確認するとともに改善に努めた。7月に「今、大学に求められている学生支援について」を、10月には「パフォーマンス課題の作り方と評価-学習成果を可視化する-」を、2019年1月にはFD研修会として、育成型入試の具体例とその成果について紹介いただき、地方小規模大学としての学生募集の方法について検討する機会をもった。また、今年度も同規模のFD活動を予定している。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育科	100人	101人	101.0%	200人	193人	96.5%	人	人
合計	100人	101人	101.0%	200人	193人	96.5%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育科	100人 (100%)	14人 (14.0%)	84人 (84.0%)	2人 (2.0%)
合計	100人 (100%)	14人 (14.0%)	84人 (84.0%)	2人 (2.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 幼稚園、認定こども園、保育所				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

(1)授業計画書（シラバス）の作成過程

F D委員会で、次年度開講科目の授業計画書（シラバス）の作成について、授業計画書（シラバス）の様式の見直しや、教員向け説明用資料等（※）を検討し、決定したものを教授会で報告する。

教授会で報告した後、各教員は次年度開講科目の授業計画書（シラバス）の作成に取り組み、最終3月中旬を目標とする。

(※) 教員向け説明用資料等

①シラバス作成のガイドライン

シラバスの定義をはじめ、作成する意義、作成方法等を表記したガイドライン

②シラバス作成の留意事項

本学のシラバスの様式を基に、授業概要、到達目標、授業計画、成績評価方法・基準、予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間他、項目ごとに留意事項を表記した文書

(2)授業計画書（シラバス）の作成・公表時期

F D委員会で、作成時期について12月までに検討し、翌年1月開催の教授会で報告する。

その後、授業科目担当教員は授業計画書（シラバス）の作成に取り組む。

授業計画書（シラバス）完成後は、全学生を対象に授業計画書（シラバス）の冊子を4月初旬に配布する。

本学ホームページは4月中を目途に公表する。

以上、様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の該当部分の記載を再掲する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

1. 学修の成果に係る評価

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

(1)評価対象

各授業科目において次の全ての条件に満たない場合は、評価の対象とはなりません。

①履修登録期間内に履修登録の手続きを完了すること。

②定められた授業回数の3分の2以上、授業に出席すること。

(2)単位修得

評価対象となる授業科目は、授業科目担当教員が次の複数の方法から評価し、単位認定します。

①学期末試験（学期末の授業内試験及び定期試験並びに実技試験をいう）

②平常試験（授業科目担当教員が必要に応じて随時行う小テストや中間テスト等）

③レポートや作品等の課題提出

④学修状況他

(3)成績評価

授業科目の成績は、100点を満点とし、次のとおり、秀、優、良、可、不可をもって表し、可以上を合格とします。

評価	評点	G P
秀	90点以上	4
優	80点以上90点未満	3
良	70点以上80点未満	2
可	60点以上70点未満	1
不可	60点未満	0 (評価対象外の授業科目含む)

(4)成績についての異議申し立て

成績評価の透明性、厳格性を確保するため、学生（及び保証人）から成績評価に対する異議があった場合、その申し立てをすることができます。

2. 卒業又は修了の認定に当たっての基準

(卒業の認定に関する方針の適切な実施状況)

卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。

なお、保育科が卒業に必要な単位数は、62単位以上（必修・教養科目5単位、必修・専門科目9単位、選択・教養科目及び選択・専門科目48単位以上）で、専攻科保育専攻が修了に必要な単位数は、46単位以上（必修・専門科目8単位、選択・専門科目及び選択・専門関連科目38単位以上）となる。

また、卒業及び修了判定は、教授会において担当委員会及び学部学科の意見を聞いたうえで、学長が卒業及び修了を認定する。なお、判定の手順として次の会議の順番で事前審議することとする。

①所属学科の教員による学科会議

②各学科の教務教職委員による教務教職委員会

③札幌大谷大学短期大学部学則による大学協議会

以上、様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の該当部分の記載を再掲する。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学部	保育科	62 単位	(有)・無	49 単位
	専攻科保育専攻	46 単位	(有)・無	40 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法： ・ 本学ホームページ「校舎案内・周辺環境」 https://www.sapporo-otani.ac.jp/campuslife/access/ 及び 本学ホームページ「施設紹介」 https://www.sapporo-otani.ac.jp/about/facilities/</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
短期 大学部	保育科 1年	700,000 円	200,000 円	361,580 円	その他は 教育充実費、同窓会費を除く 委託諸費、教育課程等履修費
	保育科 2年	700,000 円	0 円	207,500 円	その他は 教育充実費、同窓会費を除く 委託諸費
	専攻科 保育専攻 1年 本学卒業生	400,000 円	0 円	270,080 円	その他は 教育充実費、委託諸費、 教育課程等履修費
	専攻科 保育専攻 1年 本学卒業生以外	400,000 円	200,000 円	271,580 円	その他は 教育充実費、委託諸費、 教育課程等履修費
	専攻科 保育専攻 2年 本学卒業生	400,000 円	0 円	207,500 円	その他は 教育充実費、委託諸費
	専攻科 保育専攻 2年 本学卒業生以外	400,000 円	0 円	207,500 円	その他は 教育充実費、委託諸費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>日常的な学生への学修支援及び授業支援は、クラス担任（1クラス約33人）による個別指導を中心に、学科教務教職委員、授業担当教員間で情報を共有しながら行っている。</p> <p>また、事務職員とも適宜情報を共有している。特に入学時の履修指導においては、新入生オリエンテーション時に十分な時間を取って、担任及び教務委員が幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得して卒業するために必要な履修科目について、学生便覧・シラバス・履修登録票を参照しながら丁寧に指導している。</p> <p>さらに本学卒業生の教務補佐員が専任で業務に就き、学修支援及び学生生活全般について日常的に学生と教員・事務局の窓口になり適切な対処ができる体制を取っている。</p> <p>また、全教員によるオフィスアワー制度を実施し、対応時間について全学生に周知している。本学ではTA制度を採用していないが、教務補佐員が一部この役割を担っている。専攻科保育専攻については入学定員が10人と少数であり、ゼミ担当教員による学生一人ひとりへの丁寧な対応が行き届いている。</p>

<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 担任教員を中心に進路についての個別相談を受けるほか、一人ひとりの長所や適性が伝わるように履歴書の添削指導を行う。 受験先の幼稚園・保育所で落ち着いて面接に臨めるよう面接練習も行い、内定まできめ細かな個別支援を継続する。 また、課外での支援として、併設大学と合同で就職支援イベントや資格取得講座などを実施している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 学生の心身の健康管理については主に学生支援委員会が主として行っており、学務課がその事務を担っている。 健康で有意義な学生生活を送るために保健室、学生相談室を設置し、学生を支援している。 また、学校保健安全法に基づき、全学年に定期健康診断を実施し、学生の健康状況の把握に努めている。さらに全学年にUPI 検査を実施し、心の健康面でも早期把握に努めている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学ホームページ <p>情報公開資料「2018 年度教育研究上の基礎的な情報及び修学上の情報等に係る情報公開資料、2 教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報の(4)主な教育・研究・社会活動」参照</p> <p>https://www.sapporo-otani.ac.jp/about/general/publicinfo_research</p>

以上